

サーサナ

第43号 仏暦2561 (西暦2018) 年11月19日

迷信と正信

「迷信に惑わされ 正信を見失うことなかれ」

これは、『法語カレンダー』（真宗教団連合、2006年）に掲載されていた法語です。おそらく誰しも、迷信を捨てて、正信（正しい信心）をとるべきだ、ということに反対はされないでしょう。

しかしながら、何が迷信で何が正信か、どうやって判定したら良いのでしょうか。二つの間に明確な境界があるのでしょうか。

かつて、「靈感商法」が社会問題となったことがあります。もしかすると今でもあるかも知れません。「この壺には特別な靈力がこもっているので、毎日一生懸命拝めば病気が治りますよ」とか言って、百万円以上の値段で売りつけるのです。もちろん、そんなもので病気が治るはずはないので、「騙された」「詐欺だ」と言って多くの人が訴訟を起こしました。

冷静に判断するならば、そんなものに騙されるはずはない、と言いたいところですが、いわゆる振り込め詐欺と同じで、どんなきっかけで罠にかかってしまうかわかったものではありません。話に聞くと、「自分は絶対に騙されない自信がある」と言っている人ほど騙されやすいそうです。気をつけるべきは、「絶対に」ということです。世の中に絶対はありません。思い込みとか自信、これが怖いのです。自信というのは「自分を信じる」ということですが、自分ほど当てにならないものはないのではないのですか。

さて、さすがに百万円以上もする壺やら印鑑については、多くの人が批判的になります。では十万円くらいならどうでしょうか？あるいは一万円なら？交通安全のお守りや癌封じのお札にはそんな高額なものはないでしょうし、本気になる人もいないでしょうが、時として害になることもあるので気をつけたいものです。

では正信とはどういうことでしょうか。真宗では「正信偈」（正しい信心の詩、という意味です）が日常の勤行ですが、これは真宗の教えだけが正し

くて、他の教えは間違っている、ということではありません。自分は正しい、と思い込むのではなくて、逆に、自分はまちがっているんじゃないだろうか、と襟をただしながらすべてに心を開いていく、ということです。

戦争というものは、常に「自分は正しくて相手は間違っている」という信念がぶつかったところに生まれます。信念、というと立派に聞こえますが、それが正しいかどうかを決めるのは誰でしょう？間違った信念というものもあります。また真面目さから生まれる悪というものがあります。それはオウム真理教にはしった若者たちの例からも明らかです。

仏説無量寿経には「触光柔軟（そっこうにゆうなん）」という誓いが表明されています。それは「すべての人々が、真実の光に出会うならば、身も心も柔軟・しなやかとなるように」という願いのことです。みんながしなやかに生きられますように。最後に相田みつおさんの詩から。

セトモノとセトモノと
ぶつかりっこすると
すぐこわれちゃう
どっちかやわらかければ
だいじょうぶ
やわらかいところを持ちましょう

法要行事のご案内

各法要・行事に必要な勤行本は、お持ちでない場合は当寺より進呈または貸与いたします。念珠は必ずご持参ください。また肩衣の着用を推奨します。肩衣とは浄土真宗の仏事における正装で、本山また当寺でも授与することができます

十二月 成道会（じょうどうえ）

約2500年前、北インドでお釈迦様がせとりを開かれ仏陀となりました。12月8日、35歳のときであったと伝えられています。お釈迦様のせとりから仏教は始まりました。私たち仏教徒にとって最も神聖な記念日です。

- ❖ 日 時 12月8日（土）午前10時～11時半【午前9時半から受付】
- ❖ 内 容 勤行 和文仏教聖典読誦・正信偈同朋奉讃
ビデオ上映『初転法輪・説法の地』
（聖地を紹介しながら、お釈迦様の生涯をたどります）
- ❖ 持ち物 『和文仏教聖典』『正信偈同朋奉讃』（または『真宗大谷派勤行集』）
- ❖ 記念品 ボールペン

十二月 門徒総会・忘年会

上記成道会に引き続き、門徒総会を開催します。この一年間の活動報告及び今後の活動計画についての話し合いをします。皆さまのご意見をお聞かせ下さい。終了後、お斎（忘年会）があります。出席される方は、12月5日までにご連絡下さい。ビンゴゲームがあります（ゲームの賞品になるもの[未使用品]をご提供いただけるとありがたいです）。

❖総会 11時半～12時

❖お斎 12時～

（今年は「四季亭別館」の懐石弁当です）

一月 修正会（しゅしょうえ）

修正会とは、新年を祝い、また求道の決意を新たにするための法要です。家族揃って、初詣を兼ねて本堂にご参拝ください。

❖日時 1月1日（火）午前10時～11時【午前9時半から受付】

❖内容 勤行（嘆仏偈・和訳正信偈）、年頭法話

❖持ち物 『和訳正信偈』『真宗大谷派勤行集』

❖記念品 鏡餅（お子さんには菓子袋）

❖ぜんざいの接待があります。

涅槃会（ねはんえ）

例年は2月14日または15日に厳修していますが、今回は住職がインド仏跡参拝にでかけて不在ですので、旧暦2月15日に相当する3月21日に行います。次号にて詳細をお知らせします。

永代経懇志お礼

下記の方々から永代経懇志を頂戴いたしました。ここにあらためてお礼申し上げますと共に、今後とも法義相續されますことを願いたします。

10月10日 中村様[天白区一ツ山] 10万円

ユニセフ募金

6月8日、皆様からお預かりした浄財8,454円を公益財団法人・日本ユニセフ協会へ振り込みました。累計では260,633円になりました。ありがとうございました。

年忌法要

来年（2019年）は没年が下記に相当する方の年忌になります。

1 周忌	2018年（平成30年）	< 27 回忌 >	1993年（平成5年）
3 回忌	2017年（平成29年）	33 回忌	1987年（昭和62年）
7 回忌	2013年（平成25年）	< 37 回忌 >	1983年（昭和58年）
13 回忌	2007年（平成19年）	50 回忌	1970年（昭和45年）
17 回忌	2003年（平成15年）	< 70 回忌 >	1950年（昭和25年）
< 23 回忌 >	1997年（平成9年）	100 回忌	1920年（大正9年）
25 回忌	1995年（平成7年）		

大谷派儀式条例に定める年忌は、1・3・7・13・17・25・33・50・100、およびそれ以後100年毎、となります。しかし地域によっては < > 内やそれ以外の年忌法要を勤める場合があります。

❖御自宅で開催の場合、駐車場の確保をお願いします。

僧侶が袈裟衣を着替えるためのスペースを用意して下さい。

勤行本（正信偈同朋奉讃）を人数分用意してください。足りない場合は当寺に必要部数をお伝え下さい。

開催の前日までに、仏具のおみがき、お内仏の清掃をしましょう。

❖教心寺本堂で開催の場合、使用料として1万円をお願いしています。

会費の納入について

会費の期限切れの方は、更新をお願いします。1年で1000円ですが、事務軽減のため、複数年を納入していただけるとたすかります。

郵便振替00880-4-68473「教心寺」、または現金手渡しで。

真宗大谷派 教心寺（名古屋教区第30組）

編集発行人 釋眞弑（山口眞一）

468-0026 名古屋市天白区土原3丁目205番地

電話：801-1381 FAX：807-1198 電子メール：kyosin@nagoya30.net

URL <http://www.nagoya30.net/temple/kyosin/>
